

# 令和2年度事業報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人市民活動さぽーとねっと

## 総括

新型コロナウイルス感染症の社会的な影響により、社会課題や支援のあり方が変化の中で、NPOの特性をいかして、常に当事者や現場に視点をおきながら事業に取り組んでいった。

新規に「地域で子どもを支えるための支援モデル構築事業」として、子どもを取り巻く支援が充実し、それらを担う団体の活動が活発になるためには、支援物資の受け入れなどのフードバンク機能、ネットワークの事務的な支援、社会状況の変化に適応した新たな事業提案、多様な機関を巻き込んだ協働の推進が必要であり、それらの役割を担う事業を展開していった。

防府市地域協働支援センター・防府市市民活動支援センターの指定管理者3期目の4年目として、防府市における中間支援としての業務などを行い、今年度は協働の実践事例に対する支援と、新たな担い手となる人材の巻き込みを目的とした事業に重点を置いて取り組んでいった。

また、今年度もファミリーサポートセンター、留守家庭児童学級の運営について、防府市から業務を受託し、継続実施した。

各事業を運営していく中で、新たな協働の意義やコーディネートの重要性を考える機会となった。

## 事業の概要

### 1 特定非営利活動に係る事業

#### 1) 地域で子どもを支えるための支援モデル構築事業

令和元年度以降、防府市内でも地域食堂・子ども食堂が12か所立ち上がっており、令和2年4月に社会福祉協議会と連携して、「防府市子ども食堂ネットワーク協議会」というネットワークを構築し、情報共有や共通する課題などに対応できるような仕組みをつくってきた。

防府市において、子どもを取り巻く支援が充実し、それらを担う団体の活動が活発になるためには、支援物資の受け入れなどのフードバンク機能、ネットワークの事務的な支援、社会状況の変化に適応した新たな事業提案、多様な機関を巻き込んだ協働の推進が必要であり、それらの役割を担う事業を展開していった。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	通年	防府市内	2人	防府市内 50家庭・ 26団体	439

主な事業内容

- ・ NPO 法人フードバンク山口と連携した支援物資の受け入れ、保管、分配など

※ やまぐち子ども・子育て応援ファンド助成事業

支援物資の受け入れ、スクールソーシャルワーカーやこども食堂、民生委員、地域包括支援センターなど必要な機関や団体などに提供

【食品支援】

地域・こども食堂	登録数 9 団体 延べ 69 回食品提供
スクールソーシャルワーカー、地域包括支援センター、児童福祉施設など	登録数 17 団体 延べ 177 回食品提供
個人	約 50 家庭

【食品寄贈受入】

フードバンクポスト	インスタント食品、菓子など	1,232 k g
企業	インスタント食品、防災食、菓子など	1,177 k g
個人	米、野菜	524 k g
合 計		2,933 k g

- ・ 防府市こども食堂ネットワーク協議会の事務局支援

防府市こども食堂ネットワーク協議会への事務局支援として、会計を担当し、社会福祉協議会と連携して事務局機能を担う

- ・ ひとり親家庭向けの支援

ひとり親家庭向けの支援として、LINE を活用した情報発信、弁当や食品配布会の実施や他団体と協力した事業を実施

項目	日時	参加者	備考
LINE を活用した情報発信	随時	LINE 友達登録者 38 名	
ひとり親家庭対象弁当配布会	8 月 23 日	51 家庭	※山口県共同募金会助成事業
ひとり親家庭向け食品配布会	8 月 23 日	約 20 名	フードバンク本部と協働
制服寄贈プロジェクト	3 月にスタート	1 名	

- ・ こども食堂の運営

ルルス食堂という名称のこども食堂を運営

項目	日時	参加者	備考
こども食堂の実施	8 月 23 日	57 名	※山口県共同募金会助成事業

## 2)NPO 事務支援事業

市民活動支援センターの相談対応だけでは実務が難しい団体に対して、職員を育成することを目的として事務代行しての支援を行った。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	通年	防府市内	2人	2団体	0
主な事業内容					
経理、労務、その他事務の実施 支援団体数：2団体					

## 3)地域協働支援センター指定管理

防府市地域協働支援センター・防府市市民活動支援センターの指定管理者3期目の4年目として、生涯学習機能としての貸館管理と、市民活動支援として、ボランティアマッチングなどを活用した新たな人材の巻き込み、広報や事務力などに関する団体の基盤強化を図るための事業などを引き続き実施していった。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	通年	防府市内	16人	県内外 30,000人	39,341
主な事業内容					
防府市地域協働支援センター 貸室利用者：約16,000名 親子ふれあい広場利用者：約9,000名					
防府市市民活動支援センター 貸室利用者：約5,000名 相談件数：315件					
その他、主な事業の概要					
項目	内容		回数	参加者数	
多様な属性の活動が つながらる支援	連携、協働の実施		通年	4事例	
	交流セミナー		4回	56名	
地域課題の解決に向け て実働する市民活動団 体への支援	スキルアップ講座		10回	51名	
	市民活動団体の基盤強化に向けた 座談会		2回	4名	
これから行動したい人 たちを巻き込む支援	ボランティアマッチング		通年	54回	

#### 4)ファミリーサポートセンター運営受託

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
協働体制の形成に関する 事業	通年	防府市内	9人	防府市民 1,050人	8,165
主な事業内容					
防府市ファミリーサポートセンターの運営業務を、防府市からの委託を受けて行った。					

#### 5)留守家庭児童学級運営業務受託

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
協働体制の形成に関する 事業	通年	防府市内	49人	防府市民 400人	73,943
主な事業内容					
防府市内9か所の留守家庭児童学級（向島、小野、玉祖、富海、右田第1、右田第2、松崎第1、松崎第2、中関第3）の運営を防府市から受託し、実施した。					

#### 6)愛情防府子どもフリマ

10月に開催される愛情防府フリーマーケットにおいて、子どもが販売を体験する場として、子どもフリマを運営する予定だったが、イベント自体が中止となり実施せず。

## 2 その他の事業

特になし